

## 第 2 期 京都文化芸術都市創生計画の 最重要事業、新規事業のうち主な取組状況（29年度）

### 方向性 1 「暮らしの文化や芸術に対する豊かな感受性をもった人々を育む」

#### (1) 「地域に根差した暮らしの文化」の振興（施策番号 1）

- 「文化芸術による地域のまちづくり事業」を認定  
⇒区民提案により実施する京都市の支援事業等のうちから「文化芸術による地域のまちづくり事業」として認定する取組を平成 26 年度から開始。各区における取組の情報を集約し、地域に根差した暮らしの文化の魅力を再発見し、市民が主体となったまちづくりを進めている。
  - ・「京都おもてなし百科（仮称）」の作成に向けて、市内各区の取組から文化芸術に関する事業等をリスト化（平成 29 年度：101 件）

京都文化芸術プログラム 2020+再掲

#### (2) 「光」「音」「香り」などで彩られた五感で感じる京都の景観の継承と活用（施策番号 7）

- 岡崎地域の文化的景観  
⇒・岡崎公園，疏水・白川に関する絵本パンフレットを作成  
・ワークショップを開催

#### (3) 華道，茶道，香道をはじめとする伝統的な文化芸術から現代芸術までの幅広い芸術家を小中学校等へ派遣する「ようこそアーティスト 文化芸術とくべつ授業」の実施（施策番号 12）

- 「ようこそアーティスト 文化芸術とくべつ授業」を実施  
⇒伝統的な文化芸術分野の講義を含め、40 箇所を実施

京都文化芸術プログラム 2020+再掲

#### (4) 「ほんもの」の魅力が伝わる場所での公演に触れる機会の創出（施策番号 13）

- 「ようこそ和の空間 伝統公演とくべつ授業」を実施  
⇒市内の中学生を対象に、能楽堂など本格的な舞台で「能」「狂言」「邦楽と邦舞」など伝統芸能の魅力に触れる公演鑑賞事業を実施  
29 年度から文化庁・文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業の助成をいただき、市内の中学校及びインターナショナルスクール 8 校が参加
- 小中学生対象『子どもたちを「京おどり」に招く会』を実施  
⇒子どもたちを京おどりに招く会実行委員会と共催し、市内の小中学生を対象に、宮川町歌舞練場にて「京おどり」の披露、花街の文化の紹介、舞妓さんインタビュー等を実施  
27 年度から実施しており、30 年 3 月に第 4 回を実施した。参加 350 名

(5) 福祉施設に芸術家を派遣する等、社会的に困難を抱えている人々に対して、文化芸術の力を活用して社会参加の機会を充実する「社会包摂」の取組の推進（◎新規）（施策番号 29）

● 「文化芸術で人が輝く社会づくりのモデル事業」を実施

⇒文化芸術の力により、社会的困難を抱えた方も含めた様々な人々の社会参加を促進するため、3つのモデル事業（子どもプロジェクト/LGBTプロジェクト/多文化共生プロジェクト）及び市内外の事例調査を実施  
モデル事業の効果や事例調査結果を踏まえ、今後の本格的な事業展開について検討を行った。

方向性2「多様な文化が根付く暮らしの中から、最高水準の文化芸術活動を花開かせる」

(1) 伝統芸能文化の振興に向けた先駆的取組の実施（施策番号 51）

● 「国立京都伝統芸能文化センター（仮称）」構想に掲げる機能の実現に向けた取組

⇒国家予算要望の中で「国立京都伝統芸能文化センター（仮称）」の機能確保のための支援を要望（29年6月）

⇒「国立京都伝統芸能文化センター（仮称）基本構想」（素案）に掲げるセンターで備えるべき機能を確保するための事業を検討し、伝統芸能文化創生プロジェクトを試行的に実施。文化庁、(独)国立文化財機構東京文化財研究所や京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センターなどへのヒアリング調査を実施し、ネットワークを結ぶとともに、「講座シリーズ」、「落語 the シンポジウム」、「三味線三昧」や「先覚に聴く」を実施

京都文化芸術プログラム 2020+再掲

(2) 「映画のまち・京都」ならではの映画・映像文化等の振興（施策番号 63）

● 京都国際映画祭 2017 の支援

⇒平成 29 年 10 月 12 日～15 日の 4 日間で全 31 会場で開催し、333,805 人の来場特に、若手支援事業である「クリエイターズ・ファクトリー」を支援。

● 京都芸術センターで、イメージフォーラムフェスティバル 2017 を Co-program として実施

(3) 京都国際舞台芸術祭（KYOTO EXPERIMENT）の開催（施策番号 64）

● 京都国際舞台芸術祭 KYOTO EXPERIMENT 2017 の開催

⇒8 回目を迎える今回は「東アジア文化都市 2017 京都」を機に、中国と韓国のアーティストを初めて紹介。約 1 箇月間で 12 の公式プログラムや関連イベント、提携プログラム等を実施

(4) 京都芸術センター等による芸術家の育成・活動支援（施策番号 66）

● 京都芸術センターにおける芸術家の育成・活動支援の実施

⇒ 「制作支援事業（制作室使用者募集）」、「KAC Trial Project/Co-program」, 「京都国際ダンスワークショップフェスティバル」, 「T. T. T（トラディショナル・シアター・トレーニング）」, 「KAC パフォーミング・アーツ・プログラム」等を実施

● 京都市芸術文化特別奨励制度の実施

⇒ 応募件数 62 件, 選定件数 2 件

(5) 若手芸術家等の居住・制作・発表の場づくりを支援する東山 アーティスツ・プレイスメント・サービス（HAPS）の取組の推進（施策番号 68）

● 東山 アーティスツ・プレイスメント・サービス（HAPS）の取組の推進

⇒ 総合サポート窓口相談件数：198 件

- ・ 若手芸術家等に空き家を紹介し, 居住・制作の場を提供：1 件
- ・ 閉校施設を制作スタジオとして活用（全 6 教室）
- ・ 新たな活動拠点形成に向けた調査
- ・ キュレーター招聘の実施：3 名
- ・ 地域交流事業（六原フェスタ, もちつき大会への参加, 新道児童館と連携したイベントの実施）
- ・ レクチャー・ワークショップの開催（10 回開催・参加者 171 名）

方向性 3 「京都の文化芸術資源を活用し, 文化を基軸にあらゆる政策分野との融合により, 新たな価値を創造する」

(1) 芸術家の社会的, 経済的地位の向上につながる各種取組の推進（◎新規）（施策番号 67）

● HAPS において, 芸術家に適した仕事を掘り起し, それを若手芸術家に紹介する, 「芸術家×仕事コーディネート事業」を開始（30 年 3 月）

● 京都学生アートオークションの実施（29 年 9 月, 30 年 3 月）

⇒ 作品の評価・購入を通じて学生を経済的に支援するとともに, 経済やアート市場に関する学びの場も提供し, アート市場の発展にもつなげることを目指し実施。第 1 回は 32 作品, 第 2 回は 18 作品を出品

(2) 文化芸術資源を再認識し, 文化芸術資源と学術・技術の融合による新たな価値・イノベーションの創出（◎新規）（施策番号 82）

● 文化芸術創造拠点・京都プロジェクトの実施

⇒ KYOTO PROJECT START UP FORUM の開催

開催日：平成 30 年 3 月 21 日

来場者：約 200 名

⇒伝統芸能×新技術（AR技術による能楽鑑賞）

展示期間：平成30年1月14日～2月4日，3月21日～25日

体験者：約800名

ほか5事業

### (3) 世界遺産・二条城が文化財保存と活用のモデルとなる取組の実施（施策番号92）

#### ●二条城の保存整備工事

⇒・番所修理工事完了

- ・本丸御殿修理工事着手
- ・東大手門修復完成記念に伴う東大手門・東南隅櫓の特別公開（～7月31日，ただし東大手門のみ9月30日まで）
- ・夏の早朝開城（7月～8月）
- ・世界遺産・二条城の大休憩所リニューアルオープン

#### ●二条城が文化財の積極的活用のモデルとなる取組

⇒・東アジア文化都市各事業（コア期間）

- ・大政奉還 参画都市サミットの開催 など

京都文化芸術プログラム 2020+再掲

### (4) 市独自の文化遺産を維持，継承，活用するための先駆的な取組等の推進（施策番号95）

#### ●「京都の財産として残したい建物や庭園」の公募

審査会を開催し，追加の選定・認定を行う。

#### ●選定及び認定されたものへの支援策

- ・修理事業等への補助金交付
- ・「京都を彩る建物や庭園」所有者交流会の開催

#### ●“京都をつなぐ無形文化遺産”制度

- ・「京の年中行事」を選定（3月）
- ・「京の食文化」料理教室（8, 10, 12, 3月）
- ・小中学生対象『子どもたちを「京おどり」に招く会』の実施（3月）
- ・「お地蔵さんと地蔵盆」夏休み親子歴史教室（8月）
- ・親子お菓子教室（6, 9月）
- ・京菓子展（10月）

#### ●“まち・ひと・こころが織り成す京都遺産”

- ・「明治の近代化への歩み」「千年の都の水の文化」「京町家とその暮らしの文化」を認定（3月）
- ・スマートフォンアプリ「京都遺産めぐり」の配信（10月）
- ・認定記念イベント「北野西陣～その歴史と魅力を語る～」開催（10月）

### (5) 京都市美術館の再整備の推進（施策番号109）

#### ●実施設計（平成29年3月～）

#### ●再整備事業準備工事の実施（平成29年7月～12月）

#### ●再整備事業本工事着手（平成30年1月～）

#### ●埋蔵文化財発掘調査の実施（平成29年4月～平成30年3月）

京都文化芸術プログラム 2020+再掲

(6) ロームシアター京都を拠点とした劇場文化の創造・発信（施策番号 110）

- 自主・共催事業 34 事業 111 公演 4 講座 1 展示  
総入場者数 267,309 人

方向性 4 「様々な文化交流を推進し、京都の魅力を発信する」

(1) 文化庁の全面的な移転に向けた取組の着実な推進（施策番号 114）

京都文化芸術プログラム 2020+再掲

(2) 文化を通じた全国の地場・伝統産業の振興など地方創生を進めるモデル事業の先行的な実施（施策番号 115）

- 文化による社会の活性化や地方創生、国際交流への貢献を目指し、本市の文化政策をあらゆる関連分野と融合・連携させていく、全庁横断的な体制として、「文化首都・京都」推進本部を設置し、平成 29 年 4 月 26 日に第 1 回会議を開催。
- 推進本部の下部組織として、「第 1 部会 文化・観光・経済の融合」と「第 2 部会 文化芸術を活かしたまちづくり」を設置し、具体的な議論を行った結果、平成 30 年度に「京都×パリ」京ものアート市場開拓支援事業、「障害者芸術」の活性化を契機とした新たな文化芸術の魅力発信という 2 事業を新たに実施することとなった。
- 「文化を基軸とした市政運営」に係る重点方針の策定  
重点方針「新たな経済的価値の創出」「地域共生社会の実現」「都市間文化交流の更なる発展」

京都文化芸術プログラム 2020+再掲

(3) 東アジア文化都市 2017 京都の開催（施策番号 119）

- 東アジア文化都市 2017 京都の開催  
⇒・日中韓文化交流事業  
若手アーティスト等の相互派遣や青少年交流など
- ・京都の文化力事業  
世界遺産二条城での伝統芸能公演など
- ・コア期間事業  
現代美術部門（8 月～10 月）、舞台芸術部門（10 月～11 月）、音楽部門（11 月）、マンガ・アニメ部門（9 月～11 月）
- ・市民の文化芸術活動等との連携事業（4 月～11 月）
- ・東アジア文化都市サミット（8 月下旬）
- ・閉幕式典（11 月）

京都文化芸術プログラム 2020+再掲

(4) 「東京オリンピック・パラリンピック」「関西ワールドマスタースゲームズ 2021」等を契機とした国際的な文化の祭典の開催とその成果の継承（施策番号 120）

(5) スポーツ・文化・ワールド・フォーラムをキックオフとした京都文化カプロジェクト 2016－2020 の各種事業の展開（施策番号 121）

●京都文化カプロジェクト 2016-2020 の実施

⇒・第 1 回推進フォーラムの実施（4 月）

- ・公式ポスターデザインコンテストの実施（6 月～12 月）
- ・beyond2020 プログラム認証（8 月～）
- ・東京キャラバン in 京都・二条城の実施（リーディング事業）（9 月）
- ・第 2 回推進フォーラムの実施（30 年 2 月）
- ・機関誌（第 2 号）の発行（30 年 2 月）
- ・ポータルサイトの運営

京都文化芸術プログラム 2020+再掲

(6) 大政奉還 150 周年記念プロジェクトの実施（施策番号 122）

●大政奉還 150 周年記念プロジェクトの実施

⇒・シンポジウム・ディスカッション・講座等の実施

区民講座「私たちの幕末維新」を各区にて開催（9 月～平成 30 年 1 月）

子供向け歴史教室の開催（8 月）

各種展覧会との連携した特別展の開催

ファイナルイベント「京都・明治 150 年」記念シンポジウムの開催（平成 30 年 3 月）

- ・幕末維新スタンプラリー（全国版）の開催（1～12 月）
- ・「京都幕末維新を歩こう！京都ガイドマップ」の発行とスタンプラリー（市内版）の開催（8 月～平成 30 年 1 月）
- ・幕末サミットの開催と二条城のライトアップ事業の実施（10 月）
- ・広報・情報発信事業  
専用ホームページによる情報発信とシンボルマークの活用
- ・歴史資料館で特別展「岩倉具視の生きた時代」開催（9 月～平成 30 年 1 月）

京都文化芸術プログラム 2020+再掲

他の事業については、後日、以下の HP に掲載します。

<アクセス方法>

京都市情報館トップページ⇒観光・文化・産業⇒文化・芸術⇒条例・計画・審議会⇒京都文化芸術都市創生審議会

URL <http://www.city.kyoto.lg.jp/bunshi/page/0000004534.html>